

村政を問う 一般質問 8

計画を見直すための委員会は／小学校卒業までの医療費無料化実現を／担い手の確保策は／公約の情報公開室の設置は／住民と行政との協働の村づくりは／森上パイパス新設に伴う今後の対応は／プレミアム商品券の計画は／財政健全化のための施策は／新型インフルエンザの今後の対策は

はくば
白馬
議会だより
89号

平成21年第2回定例会 1

議決結果 7

私の思い出・おらが里づくり 18

わたしのこみや 19



試合前に“お願いします” (スポーツ祭)

議会で可決

- * 一般会計・特別会計予算の議案
- * 条例一部改正の議案
- * 承認
- * 同意
- * 陳情・要望
- * 条例制定の発議
- * 意見書提出の発議
- * 決議の発議
- * 一般質問

- 3件
- 1件
- 13件
- 1件
- 3件
- 1件
- 2件
- 1件
- 9名

本会議での質疑

●ごみ処理広域化計画推進に関する決議

問 (渡辺俊夫) 飯森候補地が断念されたというところで、その結果をどう受け止めて、この決議をされるのですか。

答 (太谷正治) 飯森候補地が断念された経緯は、候補地が突然出され、結果が急に発表され、住民の不信感

をかけたのが一因だと思っています。次の広域化計画では、候補地選定に当たって、住民の参加と学識者の意見を十分取り入れたものにしたいと考え、それを推進していきたいと思えます。

問 (渡辺俊夫) 議決文の最後に「ごみ処理広域化の必要性を再確認し」ということになっていますが、ごみ処理広域化計画、調査データ、計画に基づいて行われてきた審議内容、選定地、この全てを議会また議員として独自に

を検証されたのでしょうか。我々は常に住民の目線に立ち、またこの問題に関しては、学習・さまざまな形で研究しなければならぬ。常に計画は計画であり、その計画を評価しなければならぬと考え、この点についてお聞きしたい。

答 (太谷正治) ごみ処理特別委員会を立ち上げ、ごみの減量化・堆肥化等さまざまな問題について、長期・短期に亘り検討し、住民の納得が得られるような方向で進めていきたい。

問 (渡辺俊夫) 6月25日に住民懇談会が開催され、意見を集約していくという、そういう大事な場所が設定されているにも拘らず、その前に議会として推進していくと決議をすることに關して、住民の代表である議員はどう判断されるのか、住民の中に入って住民の意見を聞くということが責務ですが、その必要がないということになりま

すが、住民を無視するということにならないのでしょうか。

答 (太谷正治) 選挙を通して、皆さんにごみ問題について、色々な問題を提起し、意見を聞いています。全議員がそのような形で、村中を巻き込んだごみ問題については、十分に承知していることと思います。村が計画した25日のごみ問題の懇談会については承知していますし、我々も午後2時と7時2回ありますが、全議員都合を付け両方とも出席し、住民の意見を聞く所存です。我々はそれを無視したという気もありませんし、たまたま日にちが前後しましたが、それ以前に十分に住民の意見を聞いています。

問 (小林英雄) 私も、環境課から出された、「6月25日白馬村のごみ処理を考える住民懇談会を開催します」これが既に報道されています。私は、今なぜごみ処理特

ごみ処理広域化計画推進

討論の末、賛成9 反対2



地区ごみ集積場への不法投棄

別委員会もそうですが、広域化を推進する決議が、今必要なのか分りません。昨日の特別委員会では、なぜ広域化が必要なのか、その理由を一人ひとりに求められたが、さしたる理由らしきものは何もなかった。ただ今の流れがそうだから、これまでの流れがそうだったからという程度のものでしかありません。極め

て消化不良だと思えます。それから25日の主旨のところ、ごみ処理広域化計画が一旦白紙に戻り」ということが明言されています。「どの自治体においても行政と住民がともに協力して臨まなければならぬ最重要課題について、今後この村のごみ処理はどうあるべきか、減量化・広域化などさまざまな課題について

住民の皆様から直接忌憚きたんのないご意見をお聞きするために開催するものです」とあります。これに対して、委員長はどう思われますか。今ここで、なぜ決議する必要があるのですか。

答

(太谷正治)「当選されて出てきた議員の意見を、十分聞き取りながら広域化に邁進していきたい」と、

広域議会の場合で白馬村長が発言していただきましたので、特別委員会で全員から意見を聞きました。また、村が25日住民懇談会を行なうことは当然であり、これから新たな出発をするには、住民の意見を反映させていくという意思が確認されるべきだと思っております。私たちもその場所に出席し、住民の意見を十二分に聞く予定です。またそれが特別委員会の中に反映できればと思っております。私たちの思いも小林議員の思いもそんなに変わらないものだと思います。私たちのために利益があるよう一生懸命務めていきます。

本会議での討論

反対討論

(渡辺俊夫) 議会の

使命の一つには、執行機関の行政の運営や、事務処理などいし事業の実施が全て適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされていくかどうかを批判し、監視することです。二元代表民主制をとる我国の地方自治体の運営にあつて、議会は盲目的な行政追認機関に成り下がってはなりません。今こそ議会としてまず着手しなければいけないことは、今後同じ轍を踏まないためにも、計画立案からアンケート結果に至るまでの行政手法に関して、一旦立ち止まり、どこにどのような問題があったのか住民の代表として、住民とともに精査することです。この決議により議会本来の責務を放棄すると思えます。

賛成討論

(太田伸子) 村の財

政面・環境面、またこれからの村民のための将来を考え、

ごみ処理広域化の計画の推進に賛成します。

賛成討論(田中榮二) 今回の村議選出馬にあたり「新ごみ焼却施設の整備について、広域化の枠組みを基本とするが白紙に近い状態から考えるべきである」と言ってきました。しかし、今日までさまざまな方の説明・意見などを聞いてきましたが、多額な建設費や将来にわたる維持管理費などを考えると、とても広域化の枠組みを外すことはできませんでした。3市村の皆様とともに協力し合い、併せてごみ減量化推進を図りながら建設すべき施設と考えます。私自身、第4次総合計画の審議メンバーでもありましたし、よってこの決議に賛成をいたします。

◆ごみ処理広域化計画推進に関する決議文

白馬村議会は、白馬山麓環境施設組合議会とともに、ごみ処理広域化計画の検討を進め、平成17年12月定例会中において広域化を進めるべしとして、全議員が賛同しました。そして、事業に必要な予算や広域連合規約の改正をその都度議決し、行政とともに推進の一翼を担ってきたところであります。

アンケートの結果、建設候補地飯森地区が断念されたことにより一部の住民から広域化計画そのものまでを見直す意見が出されていますが、建設費、維持管理費の軽減などといった財政面や環境への負荷を最小限に抑えるためにもごみ処理の広域化計画を推進することが、大切であるとの認識を新たにしているところであり、これまでの経緯を充分認識するとともに、ごみの減量・分別の推進にも積極的に取り組んでいきます。

白馬村議会は、ごみ処理広域化の必要性を再確認し、その実現にむけ推進していくことを、ここに決議します。



プレミアム付商品券

●平成20年度一般会計補正予算

問

(渡辺俊夫) 固定資産税滞納繰越分1599万円増の理由は。

答

(総務課長) 過去に差押え等をした物件が、民々の売買・競売とかで割り当てがなくなってきたこと

が、大きな原因であります。

問

(渡辺俊夫) 区長報酬の減額理由は。

答

(総務課長) 均等割3500円、広報の配布戸数により1戸当たり500円ということと算出しています。それにより、結果的に予算が余ったということです。

問

(渡辺俊夫) 戸数が減ったということですか。

答

(総務課長) 毎年区長会議の際に、戸数を調査していますが、当初予算より配布戸数が少なかったという結果です。

●平成21年度一般会計補正予算

問

(渡辺俊夫) 平地観光の観光施設修繕費とは何ですか。

答

(観光農政課長) 地域発元気づくり事業補助金をいただき、塩の道・白馬小径の道標整備を行います。

問

(渡辺俊夫) プレミアム商品券は、どのような形で実施するのですか。また、商品券の運用方法は。

答

(総務課長) 1000円券12枚綴り1セット1万円として、一回5セットの購入に限定して5000セット用意します。使用期間・使用できる店・発売日等は、商工会で住民に周知を図るようになります。村内での使用に限定され、細部は今後決定していきます。

新 議 会 構 成

議 長	下 川 正 剛
副 議 長	太 谷 正 治

(◎委員長、○副委員長)

委 員 会 等 名		定 数	委 員 等 氏 名			
常任委員会	総 務 社 会 委 員 会	6	◎松沢 貞一 ○小林 英雄	太田 伸子 高橋 賢一	田中 榮一 下川 正剛	
	産 業 経 済 委 員 会	6	◎柏原 良章 ○横田 孝穂	篠崎久美子 渡辺 俊夫	太田 修 太谷 正治	
議 会 運 営 委 員 会		5	◎高橋 賢一 ○篠崎久美子	松沢 貞一 太谷 正治	柏原 良章	
特別委員会	議 会 報 調 査 編 集 特 別 委 員 会	7	◎田中 榮一 ○渡辺 俊夫	横田 孝穂 小林 英雄	太田 伸子 太谷 正治	太田 修
	ご み 処 理 特 別 委 員 会	11	◎太谷 正治 ○高橋 賢一	その他議長を除く全議員		
監 査 委 員		1	太田 修			
北アルプス広域連合議員		3	下川 正剛	松沢 貞一	太谷 正治	
白馬山麓環境施設組合議員		5	下川 正剛 小林 英雄	太谷 正治	松沢 貞一	柏原 良章
消 防 委 員		2	田中 榮一	太田 修		
表 彰 審 議 委 員		3	太田 伸子	太谷 正治	高橋 賢一	
国 保 運 営 協 議 会 委 員		3	篠崎久美子	松沢 貞一	横田 孝穂	
環 境 審 議 委 員		4	下川 正剛	太谷 正治	松沢 貞一	柏原 良章
都 市 計 画 審 議 委 員						
公 民 館 運 営 審 議 委 員		1	小林 英雄			
伝 統 的 建 造 物 群 保 存 審 議 委 員		1	下川 正剛			
学 校 給 食 共 同 調 理 場 運 営 委 員		1	松沢 貞一			
図 書 館 協 議 会 委 員		1	小林 英雄			
(社)白馬村社会福祉協議会理事		2	松沢 貞一	小林 英雄		
(社)白馬村社会福祉協議会評議員		5	下川 正剛 高橋 賢一	太谷 正治	太田 伸子	田中 榮一
(財)白馬村振興公社理事		3	松沢 貞一	柏原 良章	横田 孝穂	
(財)白馬村振興公社評議員		5	下川 正剛 渡辺 俊夫	太谷 正治	高橋 賢一	篠崎久美子
はくばSPF豚畜産環境対策協議会委員		2	下川 正剛	横田 孝穂		
クロスントリーー競技場活用検討委員		1	田中 榮一			

このような審議がありました

総務社会委員会

アイドリング・ストップに関する条例 否決

● アイドリング・ストップに関する条例

意見 観光地として冬期スキー客の駐車場で暖気運転や、夏期の冷気運転を一切規制することや、駐車場管理者がエンジンを切るよう指導することは、現実として難しいのではないですか。意見 観光地としてエコツーリズムなど、環境に配慮した観光を全面的に進めなければいけないが、罰金や罰則まで必要ない。意見 条例として完全なものとはいえないが、温暖化防止

という方向性を追及するという意味で賛同します。

意見 地球温暖化防止が大きな課題となっている現在、観光地白馬村としても、この課題に対して真剣に取り組む必要があります。例えば「アイドリング・ストップ宣言の村」といった意思を表すことを検討すべきではないですか。

▽ 賛成少数で否決と決定。

● 福祉医療費給付条例の一部改正

福祉医療費補助金交付要綱の改正により、受益者負担金について1レセプト当たり3000円を500円に改めるものです。▽ 賛成全員で可決と決定。

● 一般会計補正予算

主な内容は、振興公社の経営診断157万5千円、地域公共交通会議負担金1250万1千円、新型インフルエンザ対策37万5千円、北部グラウンドナイター照明交換16万4千円です。

▽ 賛成全員で可決と決定。



雄大な白馬三山

産業経済委員会

「塩の道」「白馬小径」の道標を補修

● 一般会計補正予算

主な内容は、青鬼上堰と八方北尾根の災害復旧4920万円、村道青鬼線の災害復旧310万円、地籍調査事業137万1千円、山小屋の維持補修255万5千円、プレミアム付商品券発行補助1085万円です。

問 道標整備は新設ですか、補修ですか。また、設置場所は、

答 「塩の道」道標の補修が30本、「白馬小径」道標の補修が30本で、地区の意見を聞いて設置したい。

問 農業振興の備品購入とは何で、目的は。

答 シカ・イノシシの被害対策のために電気柵を購入します。設置場所は神城の土橋地籍を予定しています。

問 今までに発行されたプレミアム商品券の検証はしていますか。

答 把握していません。各市町村違いですが、村内では12枚のうち6枚はどこでも使用でき、残りは個人店でしか使用できない券になると思います。

問 芝刈りは、地元へ委託しているのですか。

答 地元有志に、作業委託をしています。

問 芝刈り作業は、松川の右岸・左岸の両方ですか。

答 どんぐり側と清掃センター側並びに芝生のステーションをお願いしています。

▽ 賛成全員で可決と決定。



南部分団 県大会での健闘を讃える

● 下水道事業特別会計補正予算

内容は、受益者負担金還付59万円の増額であります。

▽ 賛成全員で可決と決定。

ごみ処理
特別委員会

陳情は継続審査

● ごみ処理広域化計画に関する陳情

ごみ処理広域基本計画にまで立ち返った再検討を委ねることや、ごみ減量化を最優先し、

現施設（白馬山麓清掃センター）を少なくとも平成27年まで使い続けることを求める陳情です。

意見 主旨・理由に関して理解できるし、同じ思いです。

意見 「飯森の否定は広域化の否定だと理解しています」とあるが、その辺はもう少し審議をしたうえで結論を出す必要があります。

意見 2月のアンケートは、候補地飯森についてのものがあると理解しています。平成25年以降になると予想も付か

ない費用が掛かると聞いています。審議しないといけない内容もあり、時間をかけていきたい。

意見 村として十分隣村のことも考えに入れていかなければいけない。ある意味では一方的な陳情ですので、村民の意見を集約していくという意味では、採択する訳にはいかないの、継続にしたい。

意見 アンケート結果が、広域化を否定しているとは思わないし、陳情にある8項目全てに賛成はできない。

意見 主旨に「立ち返った再検討を委ねる」とあるが、「委ねる」ということは、全て任せるといふ意味であり疑問を感じる。また、「ごみの減量化を推し進める政策を最優先」とあるが、ごみ減量化を推し進める政策と施設建設は並行してやっていく必要がある。

意見 文章の意味が分からないので、判断できない。

▽ 採択2、不採択1、継続審査7で継続審査と決定。

第3回臨時会

7月14日開催

● 一般会計補正予算

国の経済対策補正予算総額1兆円にかかる「地域活性化・経済対策臨時交付金」として1億2368万4千円と地方の元気再生事業委託金1156万2千円の増で、総額1億4814万4千円の増額であります。主な事業は、同報無線設備屋外子局増設（2箇所）・多目的調理室改修1235万円、子育て支援ルーム屋根葺替・旧北部保育所解体1310万円、親海湿原遊歩道の改修2650万円、岩岳トンネル改修・村営住宅解体2000万円、飯森駅トイレ改修880万円、学校情報通信教育環境整備・小中学校理科教材整備等3596万8千円、歴史（古民家）改修260万円、北部グラウンド照明設備改修182万1千円でありません。

▽ 全員賛成で可決。

● 議 決 結 果 ●

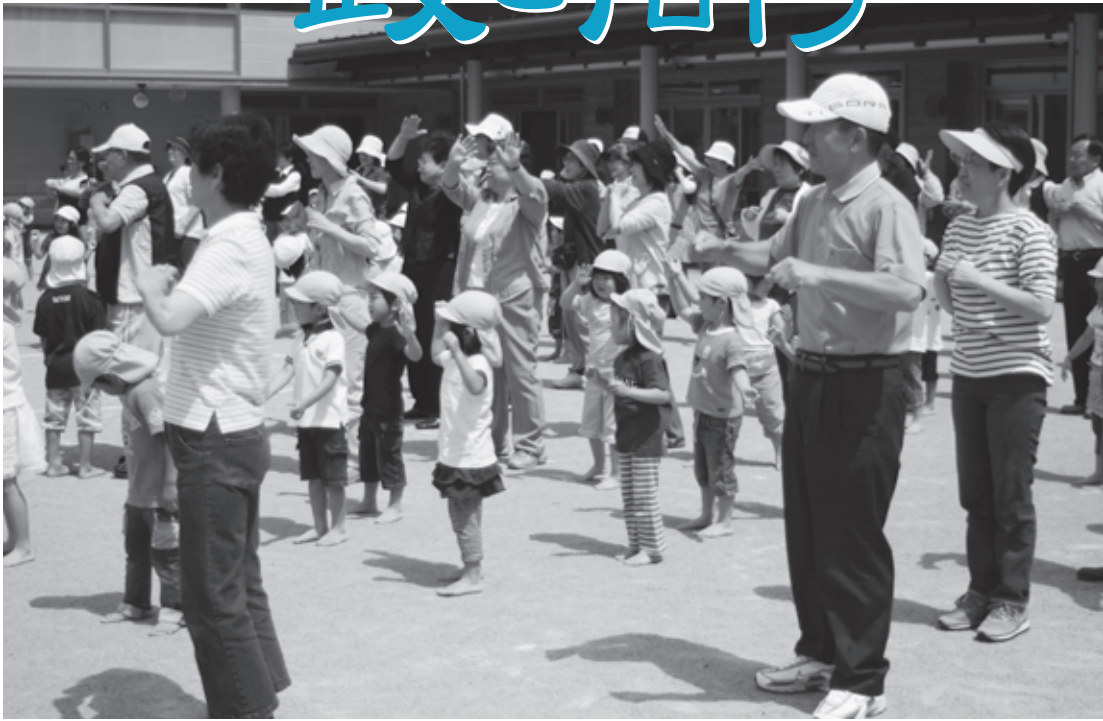
件 名	議決結果
職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正	承認（賛成全員）
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	
特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正	
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	
村税条例の一部改正	
都市計画税条例の一部改正	
国民健康保険税条例の一部改正	
一般会計補正予算（H20）	
国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（H20）	
後期高齢者医療特別会計補正予算（H20）	
老人保健医療特別会計補正予算（H20）	
下水道事業特別会計補正予算（H20）	
農業集落排水事業特別会計補正予算（H20）	
福祉医療費給付条例の一部改正	可決（賛成全員）
一般会計補正予算（H21）	
国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（H21）	
下水道事業特別会計補正予算（H21）	否決（賛成1、反対10）
アイドリング・ストップに関する条例の制定	
教育委員会委員の任命（武田彰代さん）	同意（賛成全員）
国道148号小谷道路整備凍結解除を求める意見書	可決（賛成全員）
安全・安心な暮らしをするために必要な河川・砂防事業を、国の責任で実施することを求める意見書	可決（賛成10、反対1）
ごみ処理広域化計画推進に関する決議	可決（賛成9、反対2）

● 陳 情 等 文 書 ●

提出者	住所	要 旨	所管委員会	審査結果
全日本年金者組合 中央執行委員長 篠塚多助 長野県本部委員長 松沢秀紀 大北支部委員長 井川恵右	東京都	「物価に見合う年金引き上げについて」の陳情	総務社会委員会	継続審査 （継続賛成9、反対2） 年金の受給権・組織・生活支援金等内容に疑問の点が多く、また、把握出来ていないことが多いため、もう少し検討する必要がある。
国土交通省全建設労働組合 北陸地方本部 松本支部 支部長 伏木裕二	松本市	地域間格差を拡大する「地方移譲」に反対し、国土交通省地方出先機関の存続を求める意見書の採択を求めています	産業経済委員会	採択（賛成9、反対2）
白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会 会長 宮田温巳	白馬村	ごみ処理広域化計画に関する陳情	ごみ処理特別委員会	継続審査 （継続賛成8、反対3） ※特別委員会参照

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村 活力ある
村づくりをめざして
政を問う



孫とともに (しろうま保育園祖父母参観)



きこりの道を歩く (嶺方)

ごみ問題

問 計画を見直すための委員会は

答 安易に外部組織に委ねられない



渡辺俊夫議員

【ごみ処理広域化

計画の見直し】

問

飯森候補地の断念を受け、今こそ、用地選定からではなく、ごみ処理広域化計画そのものから見直すための委員会こそ、専門家や住民を交えて早急に立ち上げるべきであると考えますが。

村長

広域化そのものが全否定されたものとは思っていません。基本計画と施設計画の見直しがなされ、それを反映して、次の候補地がピックアップされるものと考えています。住民の皆様のご意見を聞く機会は当然設け



ごみ処理を考える住民懇談会 (6月25日)

ます。行政と議会が、ともにそれぞれの役割を認識し、真剣に取り組み、間違いのない結論を導き出すべきものであり、それを放棄し、安易に外部組織に委ねてよいものではないと考えています。

問

住民や専門家を交えた用地選定委員会はどのように組織しますか。また、飯森を断念したということは、残り17から選び直すということなのかですか。

村長

二の轍を踏まないように慎重且つ迅速な対応をしていくというのが、これからの広域連合の方針と理解しています。17箇所も当然想定に入れ、また新たな検討を始めるという可能性も充分にありうると考えています。住民や専門家の皆さんが考えていた中で、「こういう場所もあるのではないか」というようなことも当然出てくるのではないかとこの想定のもとで申し上げます。

問

3市村で取り交わされた協定は見直さなければならず、また、計画策定

時の基礎データを最新のものに入れ替えて作り直すということは、基本計画そのものから見直しを始めるなければならないのではないですか。

村長

基本計画そのものが否定されているわけではなく、村の総合計画の中でも広域化が基本の方針です。これをベースとしながら組み立てをしていくが当然であると思っています。また、大町市の要望が当時とは変わってきていますので、協定書の見直しについての意見は出てくるものと考えています。

【公約とした観光産業

活性化の進捗状況】

問

就任以来3年を経たが。

村長

昨年、局長のもと、旧配宿業務を見直し、白馬村観光全体の営業推進業務、宣伝業務へと業務内容、組織、方法等を転換しました。

医療問題

問 小学校卒業までの医療費無料化実現を

答 次年度より段階的に引き上げたい



小林英雄議員

【子育て支援の充実】

問

群馬県が昨年4月から入院を、今年10月には通院費も、その無料化を所得制限なしで中学校卒業まで拡大したことは、大きな注目を浴びています。村でも早急に小学校卒業まで、所得制限なしで実現してはどうですか。

村長

村の財政状況を踏まえつつ、福祉医療給付についても将来にわたり持続可能な制度としていく必要があります。平成22年度から段階的に対象年齢を引き上げていきたいと考えています。

【村民バスの実現】

問

今年の4月からデマンドタクシーの本格運行が始まりました。年齢制限や事前登録と予約、対象は村民のみ、更に土日の運行がないことなど、村民の公共交通としては不十分です。

村長

村長は選挙公約でコミュニティバスの運行を掲げていましたが、デマンドタクシーとの関連をどう考え、村民バスの運行について現時点でどのような構想を持っていますか。

村長

平成20年3月に「白馬村地域公共交通会議」を設置し、「園児送迎乗合タクシー」と「デマンド型乗合タクシー」の具体的な運行計画について協議を重ね、昨年11月から本年3月まで試験運行を行い、本年4月1日より実証運行をしています。これらの結果を総合的に評価・

検証し、地域公共交通会議の中で協議を重ねてもらいたい。

【新ごみ処理施設建設計画】

問

6月1日の広域連合「ごみ処理特別委員会」で「ごみ処理施設建設に関する住民アンケート調査の結果に対する考察(案)」が示されましたが、総括としてはまだまだ不十分であると思いますが。

村長

考察の5項目の中で、総括されています。今後、議会とも相談し、5項目を反省しながら、村民が求めているところを把握するために、住民懇談会を開いていきたい。

問

ごみ処理の根本問題は、ごみをどれだけ減量するかです。「ごみ処理広域化基本計画」では、大町・白馬・小谷3市村の平成22年度のごみ減量目標を平成9年

度比15・2%としていますが、平成19年度ではどのようになっていますか。

環境課長

ごみ削減率はマイナス13・6%です。



元気なお年寄り

農業問題

問 担い手の確保策は

答 「担い手協議会」を立ち上げる



太田 修議員

【今後の白馬村】

問 少子高齢化や若者の村外流出等により村税の減収が懸念される、農業の担い手確保策について伺います。

村長 現在農業法人3社と16人の担い手農家がありますが、今後担い手への集積を推進するために、「担い手協議会」を立ち上げ積極的に取り組みたいです。

問 観光客の減少に歯止めが掛からない状況下であり、今後通年観光を目的に魅力ある村づくりへの活性化策について伺います。

村長 集客数の減少に伴い、施設過剰な状態から、時代に対応した意識転換が必要であり、10年、20年後を見据えた論議を進める必要があります。

【観光振興対策】

問 地産地消を推進し、観光客等への消費拡大に繋げる直売所の確保について伺います。

村長 収穫期間が短く、常設施設は道の駅とハピアの2箇所、夏シーズンは十郎の湯、グリーンスポーツの森、岩岳ゆり園、さんさんパークで開設しています。

問 休耕農地を活用した体験型観光農園の推進や市民農園等への活用策について伺います。

村長 こども農山漁村交流プロジェクトによる体験学習の受け入れで田植えや

稲刈り体験を実施しています。今後、いつでも農業体験が出来る体験農園と耕作放棄地再生利用緊急対策交付金等を活用した耕作放棄地の市民農園化を検討していきたい。

問 観光客及び住民から疑問視する声が聞かれますが、観光局の場所が適当であるか伺います。

村長 観光局は、施設改修費の借金と借地料で新設は出来ない状況です。今後ノルウェービレッジの後利用と高規格道路の計画等にあわせた位置選定を模索していきたい。

【地域高規格道路】

問 住民の生命と財産を守る道として、また経済面での観光振興や通勤圏の拡大、新たな産業創出等の道であり、早期実現への進展状況について伺います。



農産物等直売所（道の駅白馬）

村長 ルート案公表後、概略設計を発注し、起点の長野道接続部、犀川横断部について協議していると聞いています。

問 住民説明会等の開催による、村内のルート

村長 調整について伺います。馬美麻線との交差点から通のチェーン脱着所までのルートを中心に検討を進めた

村長公約

問 公約の情報公開室の設置は

答 特に「室」としては考えていない



篠崎久美子議員

【村長公約の実施状況】

問 身近な行政の具体策として、情報公開室の設置を公約としてあげていま

したが、現在もその方向性は持っていますか、具体的に実施に移すとしたらいつ頃どのようにする予定ですか。

村長 平成21年度から、総務課付け専任の総合窓口係を庁舎事務フロアに新たに配置し、「室」としての独立

はしていませんが、専任制による効果が現れるものと期待しています。

問 その他の公約の進捗状況を伺います。

村長

山岳リゾート地に相応しい基盤整備や新し

い観光産業の具体策は簡単なものではないという実感があ



役場庁舎フロアに総合窓口係を設置

【住民行政サービス】

問 役場職員の行政サービス意識は。

村長 朝礼等で、職員に対して意識を高く持つよう指導していますが、問題があれば職員を名指して指摘してください。

問 職員の行政サービスの研修システムは、どのように行われていますか。

村長 県市町村職員研修センターでの研修の他、平成19年度には接遇研修、平成20年度には接遇のスキルアップ研修を実施してきました。

問 行政サービスの総合的ガイドブック作成の予定はありませんか。

村長 外国人向けのガイドブックは作成しましたが、総合的ガイドブックは、柏市を参考にさせていただきたいと思えます。

問 基軸路線以外の地区への対応と、利用者枠の拡大はどのように考えますか。

村長 基軸路線から離れた場所に利用者がいた場合は、時間の制約もありますので予備車で対応しています。枠拡大については、本年からの実証運行の中で方向付けしていきたい。

【デマンドタクシー】

問 現在の65歳以上等の補助制度の対象年齢に、乳幼児から18歳までの子どもを加える考えはありませんか。

村長 現在、その考えはありません。うがい・手洗いの励行等を公共施設に呼びかけています。

問 「インフルエンザ 予防接種料金」

村長 現在の65歳以上等の補助制度の対象年齢に、乳幼児から18歳までの子どもを加える考えはありませんか。

村長 現在、その考えはありません。うがい・手洗いの励行等を公共施設に呼びかけています。

問 「インフルエンザ 予防接種料金」

村長 現在の65歳以上等の補助制度の対象年齢に、乳幼児から18歳までの子どもを加える考えはありませんか。

基本理念

問 住民と行政との協働の村づくりは

答 住民との対話に努め進めたい



田中 榮一議員

【第4次総合計画】

問 この計画は前村長のもとに策定されたものです。就任3年目を迎えようとしている村長として、付け加えたい基本理念はありますか。

村長 計画策定委員会と計画審議会委員が一体となって闊達な意見交換により、策定されたものであり、個人の考えを付け加える内容のものではありません。

問 協働ということがここで強くうたわれていますが、3年間行ってみてどのように考えていますか。

村長 ごみ問題などで難しい面もありましたが、協働は私の公約でもあり、ごみ処理問題が協働の足がかりとなり、村民との対話に努め新たな村づくりをしていきたい。

【教育目標】

問 白馬村次世代育成支援行動計画には、子育ての基本理念が掲げてありますが、独立機関である教育委員会としての教育目標（基本理念）を明確に示されています。村の子どもたち一人ひとりをどう育てていきたいのですか。

村長 国や県の教育振興基金の本計画を基本とし、村の実情にあった計画策定に向け、検討を進めていきたい。

【緊急時の医療体制】

問 高度医療は安曇野市や松本市に頼っている現状から、ヘリポートの設置が急務と考えますが。

村長 ヘリポートの必要性は認識しています。一日でも早い実現にむけて関係機関に働きかけています。

問 2次緊急医療機関である、市立大町総合病院の医師不足についてどう考えますか。

村長 広域の中で連携をとりながら対処していきたい。

【食育推進計画】

問 食育に関しては、現在、住民福祉課、教育委員会・観光農政課それぞれで対応していますが、横の連携をとりながら村独自の「食育推進計画」を策定したらいかがですか。



学校給食の試食（北小）

村長 現段階において策定の予定はありませんが、健康増進計画との整合性を図りながら、各関係機関との連携をさらに密にし、食に関する事業を展開していく考えです。

道路問題

問 森上バイパス新設に伴う今後の対応は

答 地域の皆様と協議する中で決めていく



横田孝穂議員

【森上バイパス】

問 昭和57年陳情第21号、国道148号線付替道路新設に伴う諸事項に関する陳情書（未実施）について、村として今後どのように取り組めますか。

村長 昭和51年に森上区から8項目、昭和57年に再度19項目にわたる要望をいただき、同年10月に森上バイパス建設の約束事項として双方で確認をしています。その後、約束事項の未実施部分と、松川端で行ったゴミ処理に対する補償事項についても、実施していない項目があること

から、今後、森上区と協議をしていきます。

【行政改革大綱 集中改革プラン】

問 行政の行うべき事業に、地元地区に負担金を求める事は不自然であり、未加入世帯の増大要因のひとつになっているので、地元負担金制度は廃止すべきと考えますが、所見を伺います。

村長 地区において、未加入世帯が増えている中で、税の公平の立場から見れば負担しない人もいる中、不公平の面もありますが、当時の制度から見れば、財政基盤の弱い自治体が知恵を出し合った結果だと思えます。当面は現状で行っていきたい。

【村の農業と今後の展望】

問 今後の展望は。

村長 営農支援センターで作り手不足の解消と遊休農地の増加を防ぐために、担い手農家や農業法人、集落営農組織への農地の集積を行っています。今後、水田農

業推進協議会事業計画に基づき、水田ビジョンの点検推進そばの里づくり推進、大豆生産と地場産味噌の普及、県の「強い園芸産地育成事業」を活用しリンドウの栽培、村にあった新品目栽培に力を入れ、観光地白馬の景観を損なわないよう遊休荒廃農地を少しでも解消していききたい。

【第4次総合計画】

問 ごみ処理は、村の第4次総合計画において「ごみ処理広域化の推進を指します」と明確になっています。行政は、基本計画に則り（のっとり）行うべきと考えますが、村長の所見を伺います。

村長 第4次総合計画の基本計画の中に「ごみ処理は広域で行う」と明確に記されています。今後に向けても、広域の枠の中でごみ処理をしていくことが、村民共通の思いでもありますので、第4次総合計画に則って対応をしていきたい。

森上バイパス



経済問題

問 プレミアム商品券の計画は

答 経済活性化の一助として予算計上



太田伸子議員

【村の経済】

問 村内の消費拡大・販売促進を図ることを目的にプレミアム商品券の計画がたてられていると聞きますが、村の対応を伺います。

村長 補助金対象事業の概要は、商工会が発行する予定の商品券を通常10枚（1万円）に2枚（2千円）分を追加した単位で販売し、購入者に20%に相当する額をプレミアム（割増券）として提供する計画です。これに伴う商品券販売総額5000万円の20%に相当する1000万円を限度とする補助金と商品券

【観光行政】

問 村において観光局・観光農政課・商工会観光部・各地区観光協会の位置づけと村の観光行政のリードについて伺います。

村長 各地区の観光協会は、地区の観光が主、商工会は商工会の会員が主、観光局は村と観光事業者から成り、各組織との連携を図っています。観光振興・観光推進は観光局が中心となって実施し、行政は観光局の事業が円滑かつ速やかに展開できるようにバックアップする組織としていますので、リード役は観光局であると理解を願います。

発行に伴う事務経費85万円を補正予算に計上しました。実施主体の商工会では、村内在住者を対象に7月下旬から8月に販売を予定しているそうです。

特産品開発をいかに観光振興に結び付けるかが課題であり、現在、味噌漬物生産組合による加工品の取り組みを実施しています。商工会が「白馬クレーピエ・ガレットフェスタ」等を実施するにあたり、地方の元気再生事業による予算確保を含めた取り組みを行政が行い、事業は商工会が実行します。今までの独自の取り組みからの脱却を図り、行政と各団体との新しい連携に取り組んでいます。

【子育て支援】

問 子育ての責任・重圧に対する、若い親たちの心のケア（手当て）をどう考えていますか。

村長 親になり子どもを産み育てることは精神的・経済的にも大変な負担になることはよく理解しています。親の行動や心の安定が、



白馬村観光局

子どもの成長に影響を与えると感じています。若い親

の教育や心のケアは必要と考

財政問題

問 財政健全化のための施策は

答 健全財政プロジェクトにより進める



松沢貞一議員

【財政改革】

問 財政健全化への取り組みについて伺います。

村長 無駄を省いた健全行財政プロジェクトと位置づけ、定員適性化計画や事務事業評価制度により経常経費の削減を図り、効果的な行政運営に努めています。また集中改革プランにより堅実な財政運営や事業の厳選、自主財源の確保に努めています。

問 公債費負担の軽減について伺います。

村長 公債費負担適性化計画に基づき利率の高い起債の借換え、繰上償還や起



深空老人クラブによる花壇整備

債借入を厳選し、平成24年度には実質公債費比率が18%を下回る計画です。

問 村税滞納について伺います。

村長 平成19年度の村税未収額は9億3千7百万円で大口滞納者の割合が大きい。平成20年度の滞納処分は、差押えが不動産24件、動産2件、預金28件、所得税還付金8件で、抵当権設定3件、公売7件、各種調査250件です。長期、高額滞納者には厳しく踏み込んだ納税相談を実施、誠意の見えない滞納者に対しては積極的に担保の徴収滞納処分をしていくことで、納税の不公平感や不信感の払拭に努めています。

問 特別会計事業の見通しについて伺います。

村長 国民健康保険事業勘定、後期高齢者医療特別会計は、景気低迷や医療費の増加によりいずれも大変厳しい運営が予想されます。下水道事業、農業集落排水事業特別会計は、起債の償還が平成31年度まで今の水準が続き、以降減り始めますが、施設の

老朽化による維持管理費の増加が予想され、繰入金の減額は厳しいと思われる。

【行政区への未加入問題】

問 28%に上る未加入世帯の解消にどう取り組みのかが伺います。

村長 自立と協働の村づくりや負担の公平性を実現するためには行政区への加入は必要不可欠であり、加入率の向上の施策を進めなければならぬ。行政区の活動を理解していただくために地域役員懇談会を充実し、有効に活用することや、先進自治体の加入促進条例等の参考事例の研究も進めたい。また特に名鉄白馬分譲地域は110世帯を超えている状況で、行政区の設置を期待しています。



感染対策

問 新型インフルエンザの今後の対策は

答 対策本部を設置しました



柏原良章議員

【新型インフルエンザ】

問 国内で500人以上の感染者が発生し、WHO(世界保健機関)が大流行を示しました。村としては外国人を含む多くの誘客をする中で、感染に十分な対策が必要と思いますが。

村長 4月30日、『新型インフルエンザ対策本部』を設置し、広報、啓発や対策を進めています。新型インフルエンザにより、修学旅行のキャンセルも出て影響が大きいく、村内での発生もあり得るので、感染拡大防止と早期対応をしていきます。

【観光振興】

問 多くの観光客を招く村として、自然を守る森林整備を早く進めて行くべきと思いますが。

村長 森林整備費用として国・県で7割の補助、村では標準経費の1割を補助して、所有者の負担軽減、森林整備環境作りを施策としています。森林整備を団地化して行うことにより、効率的な広範囲整備が可能で、県・村でも積極的に推奨しています。条件により異なりますが、1ha当たり5千円以下でできます。

村長 5月4日『第30回塩の道祭り』、5月23日『北アルプス開山祭』、7年目を迎える『白馬AIPS花三昧2009』、クリスマスイベントは開催時期・内容を一新し

集客力を増します。費用対効果を考え、民間とも協力し宣伝に努力して行きます。

【鳥獣被害対策】

問 鳥獣による農作物被害が大変増加していますが、電気柵・狩猟も含めた対策は。

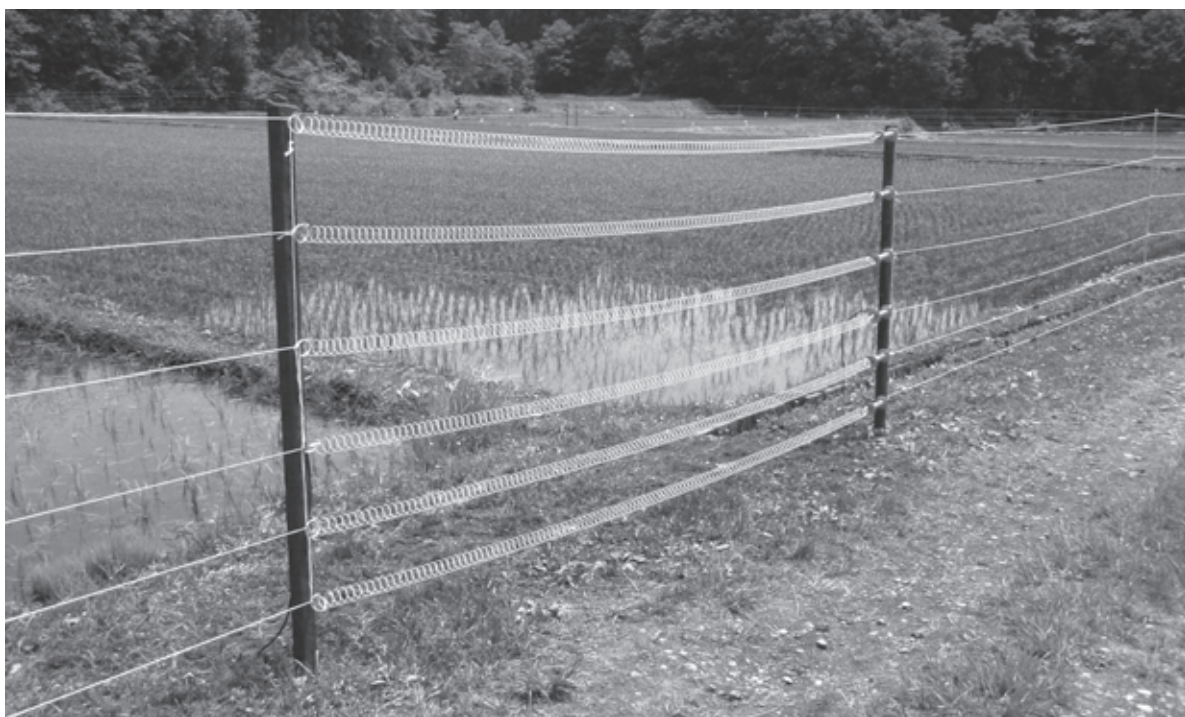
村長 昨年度、村内東側の農地でイノシシ等の被害が多く耕作意欲の減退にもなりかねず、猟友会にも捕獲をお願いしました。電気柵の設置が有効でありますので、国の補助制度を活用し設置していきたい。また、個人に対する購入費補助制度も新設しました。

【道路改良】

問 県道33号白馬美麻線の改良工事は、測量設計は済んでいるようですが工事着手はいつになりますか。

村長 平面測量のみで、着工の目途は立っていますが、関係者の協力をいた

だき工事が早くできるよう要望してまいります。



神城土橋地籍の電気柵

私の思い出

忘れられない出来事

森上 松倉 伸子



私は、昭和一桁生まれで白馬に生まれ、白馬（当時は北城村）の住民として七十数年生きてきました。小学校6年の時に終戦となり、8月15日は忘れる事のできない日です。64年も過ぎた今でも、はっきり覚えていることがあります。

8月16日の朝の事でした。兵隊さんが何十人も乗ったトラックが、我が家の庭に止まり、幹部の人らしい方と父は話をしました。その中の5人は我が家に泊まることになり、残りの大勢の兵隊さんは、父の知り合いの家に2、3軒に分散して一晩

過ごしました。その夜父は、「この人達は戦争に負けたので、自分の家には帰れないから、私の家族として今夜から一緒に暮らすことになった。明日から仕事（私の家は精米業でした）や掃除、何でも手伝うぞうだ」と云っていました。私の当番の庭掃除も明日からしなくても良いのかと内心喜びました。戦争が終わり、兵隊さんは全員実家に帰ると聞いていたのに、家に泊まった兵隊さんは、どうして実家に帰らないのか不思議に思いました。後で聞いたことですが、「死ぬ覚悟で家を出て来た、戦死した同期の人達に申し訳ない。この山の中で集団自殺をすると決めて来た」とのことでした。

次の日の朝、憲兵隊が我が家を取り巻

き、鉄砲を向けていました。家に居る兵隊さんを追いかけてきたのです。5人と父に鉄砲を向けていました。私はただ見ているだけで何も出来ませんでした。6年生の時でした。父と幹部の人と話ができて、丁度朝飯の時間だったので、「何か食べるものを用意して欲しい」と云われたのですが、お釜は一個だけだったので、大勢の人が食べるご飯はないので、小さなおにぎりに塩を振って我慢して頂きました。父に鉄砲を向けて、今にも殺そうとしていた憲兵さんも帰る時は、「おじさん、俺も日本人だ。この連中の気持ちもよく解る」と云って、涙を流したとの事でした。

それから2年程経って、幹部の兵隊さんが尋ねて来ました。玄関で抱き合って泣いていました。「住所も名前も聞かずに別れて行き、本当に辛かった。手紙も出せない、電話も無い、本当に苦しかった」と云っていました。神戸に住んでいたようです。また、若い兵隊さんは、石川県の七尾にいました。ことが分かり、私が旅行した時に話が出来ました。図書館長さんでした。このような出来事を子どもや孫に話しても、多分おばあさんの創作と云われそうです。私は、8月15日になると何時もお墓で両親とあの忘れられない日の事を話しています。

おらが里づくり

白馬町活性化推進委員長 新沢 恵



白馬町木流し地藏尊六体地藏

側に白馬町の結界の守護神として、また、白馬村を訪れた人々の心の癒しとなればと願い、木流し地藏尊六体地藏を建立しました。

このお地藏さんをお参りする時は、先ずお賽銭を入れ「オン カカ カビサン マエイ ソワカ」(類いまれな尊いお地藏さまという意味)という真言を、両手を合

我白馬町区では、平成12年に区の活性化のため、区民の自主性の尊重を計り、計画を立案し推進することを目的に白馬町活性化推進委員会を立ち上げ、村の地域づくり事業補助金を活用し事業を推進してきました。平成12年から4年間JAハピア北側の村道沿いに山野草を植え、平成19年に駅前足湯の設置と国道沿いにブルーヘアプランターを毎年少しずつ設置しています。また、平成17年から、白馬駅前より八方口六拾刈の信号機までの県道白馬岳線沿いにイルミネーションを、沿道の方々のご協力を頂き12月上旬から4月中旬まで点灯しています。今年は、5月に白馬駅前

わけて繰り返し、繰り返し唱えてください。「オン」は帰命・供養などを意味し、「カカ」は呵々大笑の呵呵で笑い声を表しており、微笑みを絶やさない地藏さまのことです。「カビサンマエイ」とは希有の意味で、お地藏さまへの讃歎の気持ちを表し、「ソワカ」は、神聖なことの最後につけて、その言葉の完成成就を願う気持ちを表しています。その心を意識して「おんにこにこはらたてまいぞやそわか」と教わったものです。現在、六体地藏の愛称を一体ごとに募集しています。応募される方は8月末までに白馬駅前、ヘアースロンアラサワまでお願いします。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



白馬はネタの宝庫

三日市場 永井 勝則

白馬村に引っ越して来てはや8年、晴耕雨読と犬の散歩の毎日を送っています。移住者であるわたしが思うのは、実は白馬村のチャンスはそこら中に転がっていて、在住者こそその価値に気がついていないのではないかということです。

春先の放射冷却の朝、前日に少し解けた田んぼの雪はかちかちに凍っています。わたしは1年でこの時期にしかない田んぼの上を自由に歩ける散歩が大好きで、白い山がオレンジ色に光る5分間を初めて見たときは神様のレイアウトかと思いました。

たとえば春の雪形。どれが何の雪形か分からないわたしは、実際の山に透かして見る、山と雪形を縁取りそこに山と雪形の名前を書いた下敷き（もしくはメガネ）があれば、面白いだろうなあと思います。

白馬へ向かう冬のバスの中、中条村辺りで白馬三山が一瞬見えたとき、オーストラリア人の子供は「オーマイガー！」と叫んだと、我が家に来た友人が言っていました。



2008年の和田野

和田野 岡田 久子

和田野区の話である。スキー客の減少に歯止めのきかない昨今、オーストラリアを始め外国人スキーヤーがスキーシーズンを支えてくれていると言っても過言ではない。来場者が多くなれば当然投資目的の人も出て来るわけで、図らずも区長という立場で対応する事になった。村には「環境保全と開発のきまり」があり、区には「住民協定」がある。その中で、活性化か景観形成保護か、地元、事業者、行政によって論議された。特筆したいのは、その資料作りに連日連夜没頭して下さった委員の方達である。資料をもとに住民に情報開示し大型開発の建設か否かを判断してもらったところまでに及んだ。しかしながら、世界同時不況によりあっけなく幕が下りたのである。そこで学んだ事は、村のルール。区のルール。それに順じて如何に後世にこの自然と活性化を残すか長期的ビジョンの必要性。地元を知る村を知る、この事の大事さを教えられた1年であった。



生かされていることに感謝

森上 宮嶋 夕子

今まで健康だけが取り柄だった私ですが、去年1月、突然ガン宣告を受けました。ステージ4『進行ガン』すぐさま入院、手術。そして抗ガン剤治療。それから1年半、決して一人で頑張ってきたわけではない。家族や周りの仲間、友人、ガンをきっかけに知り合った方、皆さんの励ましや応援、そして温かい協力があったからこそ、今、こうして生かしていただいているのである。感謝の気持ちでいっぱい。私自身『生き方』について、とことん考えるようになった。人生のゴールに向けて、何をすべきなのか？どう生きるのか？生きている間に自分磨きを！周りの助けてくれる人たちに対して自分ができたいことをしたい！私にとってガンになったことは決して悪いことばかりではなかった。生きるためのたくさんの気づきを与えてもらうことができたのだから。今まだ身体の中に、ガンはいるらしい。けれど、私は大丈夫！「今日も生かしてもらっている」それだけでもありがたいのだから！

編集後記

先日、観光に活かせないかと五竜観光協会・観光農政課・議会とで嶺方スキー場頂上から西に降りる樵の道を初めて歩いてみました。北の方向に200〜300メートルほど歩くと、1メートル幅の小道を見つけました。暫く平坦なところがあつた、そこからいきなり直線に近い下り坂となり、ほとんどが広葉樹林のなかを黙々と歩くこと40〜50分、飯森のゴルフ場の上部に出了ました。一部わかりにくい箇所がありましたが、少し手を入れると秋の紅葉などが楽しめる手軽な散策コースになるかもしれません。天気も良く、眼前に広がる北アルプスと、森林浴は一服の清涼剤となりました。 田中榮一記

議会報調査編集特別委員会

議長	下川 正剛
委員長	田中 榮一
副委員長	渡辺 俊夫
委員	横田 孝穂
	太田 伸子
	太田 修
	小林 英雄
	太谷 正治

白馬議会だより 89号
平成21年7月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 ㈱北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosei.vill.hakuba.nagano.jp/gikai/ E-mail gikai@vill.hakuba.nagano.jp



白馬議会だよりは、古紙率100%の再生紙を利用し、環境にやさしい植物油型インキを使用しました。(北辰印刷)